

アジアアクセス・ジャパン レポート 2019.6月号

Asian Access Japan REPORT

世界と日本の福音化のために、指導者を力づけ整えて、健全な教会の成長および増殖を促し、
全国規模の教会増殖運動が起こされることを目指すこと

Mission

ごあいさつ

2019年2月に神戸において、教会増殖戦略会議が行われました。この会議には2016年に行われた日本伝道会議(JCE6)から始まった「教会開拓・教会増殖」プロジェクトの委員に加え、ホーリネス教団の宣教局長や、日本イエスキリスト教団の宣教局長、JISP(日本国際スポーツパートナーシップ)のリーダーなども集って下さり、2023年東海地区で開催されることが決まった、日本伝道会議 JCE7 に向けたロードマップを話し合いました。

教会増殖運動についての追い風向かい風分析をする中で、1996年からアジアアクセス・ジャパンを通して、教会増殖ネットワーク、バルナバミニストリーが日本に紹介され、主は日本に強く働き始めて下さったことを、再発見する思いでした。その後、東日本大震災や熊本地震、中国四国地方の豪雨災害、そして北海道地震などの数々の自然災害を通して、日本には数多くの未伝地があることを見せて下さいました。その会議のなかで、共に確認したビジョンは、日本という巨大な未伝部族が、まず人口2%クリスチャンとして勝ち取られること、そのために、日本の津々浦々にコンビニエンスストアの数ほどの教会が生まれ出されること、その数5万教会。そして一つの教会が平均50人規模になるときに、日本は初めて未伝道種族ではなくなることを確認し、共有しました。

私は昨年夏に、20日間かけて、教会のメンバー5人でチームを組み、秋田県と北海道の教会未設置市町村に短期宣教を行う機会を持ちました。一軒一軒平安を祈りながら訪問し、主が備えて下さっている平安の子を捜す旅の中で、1605軒の家を訪問し、玄関先で共に祝福の祈りを受け入れて下さった方が37名、また来て下さいと言って、お土産を下さった方が7名、信仰告白をされた方が3名与えられました。その旅を通して、わたし自身が、主が日本の失われた魂に対する深いあわれみの心を学ぶ機会となりました。

99%以上が福音を知らずに失われた羊となっているこの日本において、日本全土に主の福音が満ちて行くために、アジアアクセス・ジャパンを通して主がこの国になさりたいことのために、備えていきたいと願われま。昨年で40年間近く行ってきた JCGI 研修が修了し、これからの日本の宣教のために必要な主の働き人を育成すべく、新しい研修を開発中です。ぜひ覚えてお祈りください。

皆様の尊いご支援とお祈りに、心より感謝致します。

アジアアクセス・ジャパン ナショナルディレクター 播義也



① JCGI研修(終了)

1983年から日本教会成長研修所として働きを始めてから、今まで400名以上の牧師に研修を通して仕えて来ました。

そして JCGI 研修としては最後の卒業式が、昨年11月にカリスチャペルにてもたれました。卒業された先生方は以下の先生方です。祝福をお祈りください。

阿見高洋師(プレイズコミュニティーチャーチ)

大友幸証師(塩釜聖書バプテスト教会)

門野肇師(熊本いずみ教会)

橋内明裕師(御影ルーテル教会)

黄金井尚美師(尾上聖愛教会)

下澤賢司師(ニューホープチャペル)

中村陽志師(熊本ハーベストチャーチ)

斐 東 烈師(光の森聖書教会)

バルナバ役として、鈴木光師、豊田信行師、小平牧生師、大橋謙一師、沖胡一郎師、酒匂一己師、滝田新二師がご奉仕くださいました。

また、研修会場として、カリスチャペルの村上好伸先生はじめ、関西地区の先生方にご協力頂きました。



今後は、今までの研修を通して培ってきた遺産を継承しつつ、これからの時代に応えるあり方の研修を2020年4月から始めていきたいと考えております。お祈りください。

② U30研修

2018年4月から、30歳以下の主の働き人を対象としたU30研修を行いました。20代の牧師を見つけ出すのは苦労しましたが、主が12名を集めて下さり、学習共同体を形成し、本郷台キリスト教会を会場に、1年

間の研修が持たれ、2019年3月に終了しました。研修に参加された先生は以下の通り。

大久保 望信先生 基督聖協団 熊本教会

大橋 真久先生 クライストコミュニティ

熊谷 直也先生 勝田笹野キリスト教会 フリーメン

小嶋 健太先生 高砂教会 日本キリスト教団

武田 遣嗣先生 那珂湊キリスト教会 JECA

田所 慈郎先生 富士見丘教会 日本キリスト教団

辻 和希先生 蔵王キリスト教会 保守バプテスト

寺田 雄先生 南紀キリスト教会 アッセンブリ

西川 牧雄先生 水口キリスト福音教会 単立ペン

ベネディクト・カレブ先生 奈良ライフソングチャー

チ 単立

サブリーナ・リー アジアンアクセス宣教師

ベサニー・パニアン アジアンアクセス宣教師

バルナバ役として、鈴木光師、横田義哉師、金野正義師、飯田克弥師、野田勝利師、儀間守人師、下澤賢司師、阿見高洋師、澤村信蔵師、高澤ドリー師、がご奉仕くださいました。

また、研修会場として、本郷台キリスト教会の池田恵嗣先生はじめ本郷台キリスト教会の皆さんにご協力頂きました。次回のU30研修は、2020年に行う予定です。



③ PALD (Pan Asia Leaders Development Program)

PALDとは、アジア全域にわたって教会に仕えるリーダー達の群れを見るために、積極的にリーダー育成に取り組むべく、英語を用いて、アジア全域の様々な文化、文脈の地域や国々に仕えることのできるアジア人のリーダーの育成を願って、高澤健、ドリー夫妻が中心的に計画してきた研修に、日本から播師と鈴木光師が参加しております。参加国は、日本、カンボジア、ミャンマー、バングラディッシュ、インドの五ヶ国で、それぞれ2人ずつ研修生を出し、10名の学習共同体を形成して、それぞれの国に行つて研修するというユニークな研修です。2018年8月には福島第一聖書バプテスト教会に集まり、佐藤彰師からの分かち合いと避難区域に許可を受けて立ち入り、東日本大震災の痛みを共に体験しました。それから、バングラディッシュ、インドと研修が進められ、今年の7月にミャンマー、10月にカンボジアで開催予定です。

④ 熊本チャーチビルドプロジェクト

熊本地震以降に、熊本宣教ネットワークが始められました。その中でも特に教会開拓に取り組む志が与えられている7つの教会がネットワークを組み、熊本チャーチビルドプロジェクトが、2018年4月から始められました。熊本ハーベストチャーチを会場に、熊本ビルドプロジェクトの第一回目の集会所もたれました。3か月に一度集まり、教会増殖についての学びとバルナバタイムの時間が持たれ、震災支援から教会増殖へ各教会で働きが展開されています。また、このネットワークに参加する、3教会へアジアアクセスの宣教師が派遣されております。その他の宣教団体からも宣教師が派遣されてきており、熊本地震以降、主が熊本県に力強く働かれていることを見せられています。



⑤ 教会増殖戦略会議

2019年2月13—14日、神戸にある母の家ベテルにて、冒頭でも分かち合わせて頂いた通り、教会増殖戦略会議が持たれました。これは、2023年東海地区で開催が決定された、日本伝道会議 JCE7 に向けて、教会増殖のうねりを作るためのロードマップを考えるために開催され、今後のアジアアクセス・ジャパンの働きを考える上でも、重要な会議となりました。参加者は、JCE6 教会開拓教会増殖プロジェクト委員の、大田裕作師、永井信義師、ジョン・メイン師、佐伯淳平師、また、ホーリネス教団から、加藤望師、佐伯真師、宮城宣教ネットワークから大友幸一師、金野正義師、日本イエスキリスト教団の横田法路師、日本バプテスト連盟の角本尚彦師、JISP の池田恵嗣師、アジアアクセスから、アデア・ロバート師、高澤健師、播義也師が集まり、会議が持たれました。

そこで共有された日本全体のビジョンとして、「2023年までに人口の2%を勝ち取り、2024年では10%を勝ち取る」という、人の目には不可能と思えるものです。そのためには、コンビニの数ほどの教会=5万の教会が必要であり、もし5万の教会が平均50人教会として形成されていくときに、人口の2%のクリスチャンとなることが分かち合われました。また、本郷台キリスト教会の池田恵嗣師に、主が2014年に示して下さったビジョンとして、10×10ビジョンがあることが分かち合われました。それは、2024年(2014年の10年後)までに10倍の祝福=人口の10%のクリスチャンとなるものです。

今後のアジアアクセス・ジャパンの働きは、日本の鍵となる主の器で共有されている夢を達成するために、どのように貢献していくべきなのかを考えつつ、進めて行くこととなります。



①「カバレッジビジョンセミナー2019 in KBI」

と き: 2019年6月3日(月)～5日(水)

ところ: 関西聖書学院 奈良県生駒市門前町 22-1

テーマ: 「ルカ 10 章の聖書的原則と

教会未設置地域への伝道」

講師: 安・カンヒ 師 (Finishing The Task ディレクター)

問い合わせ先: 関西聖書学院 Tel: 0743-70-8600

②「カバレッジビジョンセミナー2019 in 高知」

と き: 2019年6月6日(木)～8日(土)

ところ: 枝川コミュニティーセンター

高知県吾川郡いの町枝川 2462

テーマ: 「ルカ 10 章の聖書的原則と

教会未設置地域への伝道」

講師: 安・カンヒ 師 (Finishing The Task ディレクター)

問い合わせ先: アジアンアクセス・ジャパン (下記参照)

③「教会増殖ビジョンフェスタ 2019 in 東京」

と き: 2019年7月8日(月)～9日(火)

ところ: お茶の水クリスチャンセンター8階

東京都千代田区神田駿河台 2-1 8F

テーマ: 「日本各地で見せられている教会の増殖と

2023,2024 に向けたビジョンの共有」

問い合わせ先: アジアンアクセス・ジャパン (下記参照)

④「アジアンアクセス・ジャパン大会」

と き: 2019年11月25日(月)～27日(水)

*詳細は後日お知らせ致します。日程の確保をお願いします。

⑥新しいスタッフの紹介

アシスタント 斎藤 瑠惟 (24)

恵泉キリスト教会埼玉のぞみチャペル

東京基督教大学在学中(7月卒業予定)

コメント: 4月からアシスタントとして働いている、斎藤瑠惟(さいとう・るい)です。主な業務内容は広報、メ



ディア管理となります。生まれも育ちも北海道釧路市で、現在は恵泉キリスト教会埼玉のぞみチャペルの中でチームを組み、教会がある戸田市で新たな教会開拓に携わっています。これからあらゆる場面でお世話になりますが、何卒よろしくお願ひ致します。

⑥ 会計報告

2018年9月度から2019年3月度の収支報告
アジアンアクセス・ジャパンは、皆様のお祈りと献金によって活動させていただいております。お支えを感謝申し上げます。今までの活動の中心は、JCGI 研修などの主催セミナーでした。現在は新しいプロジェクトと併せて他の団体との共催や、他団体への協賛なども行っています。教会増殖ビジョンフェスタやカバレッジビジョンセミナー(未伝地伝道)などがその例です。(活動報告をご参照ください)

現在行われている活動やこれから立ち上がるプロジェクトのためにお祈りください。また、下記の収支報告にございますように、収入の50%はアメリカからの支援金です。アジアンアクセス・ジャパンの自給率が上がれば、その分アジアの伝道に資金が回ります。アジアンアクセス・ジャパンの経済的自立のためにもお祈りください。

日本全国が福音におおわれますように。そのために、今後ともアジアンアクセス・ジャパンの働きを覚えてお助けいただければ幸いです。

在 主

収入

一般献金(7名の個人・35の団体、教会)	2,202,082 円
米国からの支援金	3,298,500 円
その他の収入	824,216 円
	6,324,798 円

支出

運営・活動費	5,577,979 円
収支	746,819 円